

(あすを探る 共生・社会) 生活苦と閉塞感、黄色の怒り 森千香子

有料記事

2018年12月20日05時00分

シェア

ツイート

ブックマーク

スクラップ

メール

印刷

0

list

0

紙面ビューアー | 面一覧

「黄色で、ダサイ、何とも合わない。だがあなたの命が守られる」。10年前のフランス 交通安全強化週間のポスターで、有名デザイナーのカール・ラガーフェルドが黒スーツ、蝶（ちょう）ネクタイの上に蛍光の黄色いベストを着用した時のスローガンだ。カッコよくはないが、誰でも車内に備えていて、暗がりでも目立ち、命を守る。ベストを身につけた人々の抗議活動は「ジレジョーヌ」（黄色いベスト）運動と呼ばれ、11月17日に仏全土約2千カ所で28万人を動員後、毎週土曜日に続いている。

1968年5月のように学生や若者中心ではない。95年12月の国鉄ストのように労組の影響力もない。代表するスポークスマン不在で一部に移民差別の動きもあった。増税反対なんて保守の運動だ、環境への意識も低すぎる、と敬遠する都市部のリベラルもいた。だが、「トランプ支持者と同じ」「大半が（極右の）ルペン支持者」などの紋切り型では理解できない事態が起きている。

日本での報道は都市部での「暴徒化する人々」に偏りがちだが、全国の農村部まで広がった今回の運動全体を見渡すと、いわゆる「暴動」では見かけない年金生活者や女性の姿が目立った。参加者の職業は多岐にわたる。安易な総括を許さない、多種多様な人々を路上に押し出したものは何なのか。

93年に刊行されたフランスの社会学者ピエール・ブルデューの編著『世界の悲惨』は一つの手がかりを示す。福祉の対象ではないが、苦しみを抱える「内側で排除された人々」の声をインタビュー調査で丹念に拾い上げた。農民、鉄鋼労働者、郵便局職員、商店経営者、ソーシャルワーカー、教師……。仕事はあるが評価されない、勉強しても将来に希望がない、「貧困層」ではないが生活は苦しい。現状維持が精いっぱいだが、現状自体が耐えがたい。そこにあるのは自分の運命を自分でつかめない閉塞（へいそく）感だった。

ブルデューたちが25年前に描いた「内側で排除された人々」と「黄色いベスト」は重なる点が多いというのが私の見方だ。「見えない存在」だった人々が沈黙を破ったきっかけは燃料税の引き上げだったが、その数週間前に抗議運動を予見するような1冊の書籍が刊行された。社会学者アレクシス・スピールの『税金に反対し、大きな政府を求める』は、納税者2700人に調査を行い、税金に不満を持つ人が高額納税者よりも低額納税者に多いことを指摘した。興味深いことに、税金に不満を持つ層は、公共サービスの縮小にも強い不満を示している。

税金には反対だが、公共サービスを支持する——一見矛盾するような主張にも一つの論理がある。大統領官邸の食器代50万ユーロや大臣の住居費など、政治家の高額な出費は許せないが、社会保障などの公共サービスはしっかり維持してほしい。そこに矛盾はない。車なしで生活できない地域は、郵便局の窓口が減少したり、病院が閉鎖されたりする地域でもある。暴力行為などの報道にもかかわらず支持が高いのは、同じ不安を共有する人が多いからだ。

税制が不公平だという批判は新しくない。サルコジ時代の不正献金疑惑、オランド時代の予算担当相の脱税疑惑など、税金スキャンダルは後を絶たない。だが富裕層の「節税」を助ける政策が次々と行われ、その一方で「一般人」には来年から源泉徴収制度が導入

最新の朝刊紙面

東京 2018年12月20日 木曜日

地域面紙面

天声人語

社説



各本社朝刊紙面

朝夕刊バックナンバー

PR 注目情報



土地活用ご検討の方 必見!

締め切り迫る! カタログ最大12点 相続リスク・節税対策は大丈夫?



アンケートご協力をお願い

魚不足に関するアンケートご回答で サントリー商品が! 抽選で1万名様



お得に自宅を売却する方法

仲介手数料が定額49.8万円! 売却のプロが利益を最大化します。

手のひらや足の裏の水ぶくれやひび割れ

その悩み「掌蹠膿疱症」かもしれません

安藤和津インタビュー「家族に注ぐ愛は

プラチナがくれるパワーのよう」

なるほど! 知って得するお正月。

学んで覚えてお正月を楽しもう!

気になる冷えは手足だけではありません

内臓の冷えに お腹を温めるセルフケア

企業のいまを追う。

組織を活性化させる働き方と人事戦略

将来の選択にまつわるエピソードが満載

世界的なトップシェア企業をご紹介

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

闘病中もオシャレだった妻、最後の夜に「もういいよね」

される。そこに燃料税の引き上げが発表された。この点に関して言えば、マクロン仏大統領は何かを抜本的に変えたのではなく、この30年の政策の流れを堂々と加速させただけだ。

抗議の結果、燃料税の引き上げは延期された。今後3カ月間、政府との「対話」が行われるという。その行方を注視すると同時に、「黄色いベスト」が表現した閉塞感や政治不信は日本社会にも広がる。この運動から何を学ぶのかが問われている。

(もり・ちかこ 72年生まれ。一橋大 准教授・社会学。著書に「排除と抵抗の郊外」)

その他のオピニオン面掲載記事

(論壇時評) 閉じこもる言論 固定ファン頼み、こぼれる声 歴史社会学者・小熊英二

(あすを探る 共生・社会) 生活苦と閉塞感、黄色の怒り 森千香子

論壇委員が選ぶ今月の3点

(担当記者が選ぶ注目の論点) 平成の30年回顧、新たな時代探る

論壇委員会から

こんなニュースも

女性が夫に「一緒にならない？」 順調だった老後に波風

闘病中もおしゃれだった妻、最後の夜に「もういいよね」

捕手が登板、すると… 大リーグで珍記録のち大記録

マック鈴木、妻・クワバタオハラの小原正子と築いた「早く帰りたくなる家」 (&M)

<137>高円寺。ナンパした彼女と始まった甘い生活 (&w)

ルイ・ヴィトンのスニーカー、前から横から、後ろから (エアスタイルマガジン)

フェミニズムのパイオニア。挑発的な性的表現に挑んだ 女性アーティストたち (T JAPAN)

Recommended by

こんな特集も

夜景写真家岩崎拓哉さんに聞く夜景撮影の魅力 (PR)

ポロシャツの解禁は台襟付きが条件。【仕事着の新ルール】 (エアスタイルマガジン)

厳選5社！土地活用カタログで節税・相続リスク対策を！ (PR)

クリスマスに贈りたい女性が喜ぶギフト (PR)

低金利時代でも魅力的な懸賞金付き定期預金ってなに？ (PR)

PR情報

普段あまりみない年収2000万円以上の求人多数！覗いてみませんか？

AERA編集長×創業ベンチャー「メディシノバ」 松田CMO特別対談

トップニュース

朝日新聞デジタルのトップページへ

JIC前身ファンドでも高額報酬 退職後には最大7億円 (05:07) 🔒

国策投資で高額成功報酬、外資幹部「あるのが不思議」 (05:31) 🔒

一番で終結「無理でしょ」 死刑の被告、判決前に語る (23:36) 🔒

西武園の火災、放火と保険金詐取の疑いで男を書類送検 (05:13)

「55議員は身分失うべきだ」山本最高裁判事の反対意見 (01:37) 🔒

カミソリ後藤田氏、中曽根首相の国会見通し「狂ってる」 (01:04)

「官製ワーキングブア」指摘も 図書館、なぜスト寸前に (21:02) 🔒

核ごみ処分場誘致派から町長に現金が…きょう特報します (21:30) 🗳️



椰揄されてもトップ5入り=AFP時事

注目の有料ニュース

天声人語 🔒 | 一覧

おすすめ

タレントの泰葉氏に罰金10万円 「しまつする」脅迫罪

小さな漁村、ITで救いたい…41歳女性、夢半ばで急逝

公園にこない彼女、響いたサイレン 胸騒ぎが止まらない

お堀の水、抜いてみた 外来種の亀「一網打尽」のはずが

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

- 1 男女平等度、またG7最下位 1620 |
- 2 文科省、ベネッセに負担依頼 1520 |
- 3 原発輸出総崩れ、政権に打撃 1342 |

Facebook 🔗

Twitter 🔗

記者ページ

注目コンテンツ

ご案内

【&BAZAAR】

さりげなくギター好きアピ！

フェンダーのイヤホン



【&TRAVEL】

福島への思いを込めて……

167人による個性あふれる豆皿



【&M】

フィンテックが社会を変える

若林恵が見据える未来の社会



【&w】

ジャンポール・グード展開催

ファッションニュース



好書好日

ディラン日めくりカレンダー

ノーベル文学賞の歌詞を堪能



WEBRONZA

秘密書簡サイドレターの真相

今日の編集長おすすめ記事



エアスタイルマガジン

石川社長が語るカッコ良さ

起業家としての生き方とは



T JAPAN

「日本酒応援団」を支える酒蔵

大分県「萱島酒造」の流儀



GLOBE+

処分した古着、どこへ行く

たどって着いた先は



sippo

カメラマンが撮影法を解説

猫を美しく、かわいく撮る



センター試験の時間割はココで確かめよう！

同志社大学ほか、関西の大学の今が分かる！

浜辺美波、親を介護する自分を考えてみた